

ST-5
#19.99

Birth Racing Project

Press release - 2014. 07.26-27



Race Report



Super Taikyu 2014 Series Round-3 / Fuji Super Tec

(2014.07.26-27)

ST-5
#19.99

Birth Racing Project

Press release - 2014. 07.26-27



BRP★J' SRACING 2台のフィットは激戦のシリーズ最長7時間レースをクラス1位と3位で終える。

BRP★J' SRACINGは2014年7月26日～27日に富士スピードウェイで開催された「スーパー耐久シリーズ第3戦 SUPER TEC富士」において、シリーズ最長の7時間の耐久レースを、フィット3の99号車がクラス優勝、そしてフィット2の19号車もクラス3位でダブル表彰台を獲得しました。

【7月25日(金)公式フリー】天候:晴れ 路面:DRY

第2戦菅生戦で露呈した課題を克服して、BRP★J' SRACINGの2台のフィットは第3戦富士に挑みました。99号車はレースシュミレーションを含む入念なテストを事前に行い、更に19号車も更なる足回りのセッティングを見直しこのレースウィークに挑み、そのパフォーマンスが十分確認する事ができ、明日からの予選そして長丁場の決勝に手ごたえを感じて金曜日のフリー走行を終えました。



【7月26日(土)公式予選】天候:晴れ 路面:DRY

いよいよ開幕戦の予選が始まりました。19号車はAドライバーの古宮がアタックを開始してコースレコードを上回る2' 07.137でクラス3番手を獲得し、続くBドライバーの野村も果敢にアタックをし、2' 09.079を叩き出し、合算で予選クラス4位のポジションを獲得する事ができました。

99号車もAドライバーの梅本からアタックを開始し、2' 05.669でクラス1番手を獲得し、続くBドライバー奥村も2' 05.275を叩き出し、コースレコードと共に合算で予選クラス1番手のポジションを獲得して、長丁場の決勝レースに向けて、最高のポジションでスタートできる状態となりました。

【第3戦富士ST5クラス予選結果】

(19号車)

Aドライバー:古宮 正信	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 07.137	クラス3位
Bドライバー:野村 浩史	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 09.079	クラス6位
Cドライバー:恩塚 一将	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 11.601	クラス5位
Dドライバー:西田 公也	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 09.681	クラス2位

(99号車)

Aドライバー:梅本 淳一	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 05.669	クラス1位
Bドライバー:奥村 浩一	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 05.275(R)	クラス1位
Cドライバー:大野 尊久	コース:ドライ	タイヤ:スリック	2' 05.283	クラス1位

1位	No.99	BRP★J' SRACINGフィット3(GK5)	4' 10.944
2位	No.95	リジカラFIT3(GK5)	4' 12.026
3位	No.2	ホンダカーズ野崎with BOMEX(GK5)	4' 12.882
4位	No.19	BRP★J' SRACING(GE8)	4' 16.216
5位	No.36	エンドレスアドバン日光ヴィッツ(NCP91)	4' 17.518
6位	No.17	DIXCELアラゴスタNOPROデミオ(DE5FS)	4' 18.129
7位	No.71	ピースMS制動屋SPM乱人FIT RS	4' 20.422
8位	No.213	WAKO'S μ野田自動車Vitz(NCP91)	4' 20.644
8位	No.101	AGNET-1 Vitz(NCP91)	4' 20.969

ST-5
#19.99

Birth Racing Project

Press release - 2014. 07.26-27



【7月27日(日)決勝】天候:晴れ 路面:DRY

決勝レースは天候は曇りでいつ雨が降り出してもおかしくないような天気です。7時間のシリーズ最長の耐久レースが始まりました。

4番グリッドからスタートの19号車は古宮がスタートを担当し、ポールポジションからスタートの99号車は大野がスタートを担当しました。99号車はスタート直後から2号車と接戦を繰り広げながらレースは展開していきますが、2号車が車両トラブルで緊急ピットインをしてそのままリタイヤとなり、一時は首位となりますが、セカンドスティント担当の梅本のラップ中にGT3車両との接触が発生し、フロントホイールが砕け散りタイヤがバーストした為緊急ピットインによる修復作業に時間を要し、95号車に首位を明け渡し2位でチェッカーを受けますが、レース後に95号車が車両違反により失格となり、99号車はクラス優勝となりました。

19号車もスタート直後から安定してラップを重ねてクラス3~5位でレースを展開し、大きなトラブルも無く最終的にクラス3位で、99号車と共に、2台のフィットが表彰台を獲得する事ができました。

【第3戦富士ST5クラス決勝レース結果】

1位	No.99	BRP★J' SRACINGフィット3(GK5)	191	7:01' 18.468
2位	No.17	DIXCELアラゴスタNOPROデミオ(DE5FS)	189	7:02' 21.770
3位	No.19	BRP★J' SRACING(GE8)	189	7:02' 35.759
4位	No.36	エンドレスアドバン日光ヴィッツ(NCP91)	182	7:03' 03.681
5位	No.101	AGENT-1 Vitz(NCP91)	180	7:01' 26.807
6位	No.213	WAKO'S μ野田自動車Vitz(NCP91)	160	7:02' 48.562
7位	No.71	ピースMS制動屋SPM乱人FIT RS(GE8)	140	7:02' 06.003

リタイア No.2 ホンダカーズ野崎with BOMEX(GK5) 44 2'08.007

失格 No.95 リジカラFIT3(GK5)



ST-5
#19.99

Birth Racing Project

Press release - 2014. 07.26-27



【コメント】

チーム代表兼ドライバー：奥村浩一

シリーズ最長の7時間の耐久レースを2台のフィットが共にクラス表彰台を獲得する事ができました。予選では今年初のポールポジションも獲得する事ができ、ようやく今年に入り思うようにレース展開出来なかった悪い循環から抜け出せるきっかけを富士でつかんだように思います。

今季のS耐も早くも折り返しとなり、残り3戦となりましたが残りは地元である西日本のサーキットとなりますので、しっかり準備をして気を引き締めてレースに臨みたいと思います。

引き続きのご支援・ご声援をお願いいたします。



ST-5
#19.99

Birth Racing Project

Press release - 2014. 07.26-27



■2014年 BRP スーパー耐久プロジェクトパートナー



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先 : office@brp.gr.com